



白糠町のPRのことばかり考えるわたし  
白糠漬けの日常より。

地域おこし協力隊

キタダ ジュンコ  
北田 純子



## Profile

1973年11月23日生まれ。  
千葉県千葉市出身  
2019年4月から白糠町の観光をPRする地域おこし協力隊として着任。  
趣味は映画鑑賞、読書、アウトドア。

### ■北田純子ブログ

「シラスカAtoZ」  
<https://shiranuka.wixsite.com/atoz>



私の中でシュワルツェネッガーブームが!!

## コープさっぽろ広報誌に 漁組たこ縄部会情報掲載

3月1日発行のコープさっぽろの広報誌「Cho-co-rito（ちよこつと）」に、白糠漁業協同組合（以下、白糠漁協）たこ縄部会の記事が、6頁にわたって掲載されます。コープさっぽろは「消費者の視線で優れた第一次産業の生産者を応援する」というコンセプトで、3年に一度《コープさっぽろ農業賞》を開催しており、白糠漁協は漁業部門にエントリーしました。その内容は、広報誌1月号の当連載でご紹介した「空釣り縄漁による海洋プラスチック問題の改善ならびに環境改善への取り組み」です。同たこ縄部会の取り組みは、

現時点ですでに審査機関から高い評価を獲得しており、漁業賞にエントリーした全企業・全団体の中、上位3位までに入賞。最終審査である、今年秋の現地視察権を獲得しています。「Cho-co-rito」は、コープさっぽろ全道107店舗で手に取ることができしますので、ぜひご覧ください。

## 外と内の両方に白糠ファンを増やすのも私の仕事です

白糠町に来て半年ほどたった頃、私は空釣り縄漁が海洋環境に与える影響を知り「この素晴らしいさを広く伝えたい!」と、都庁記者クラブにプレスリリースを出しました。同じ頃、漁協の方が私のプレ

スリリースのことを釧路総合振興局のKさんに話したところ、Kさんは漁協にコープさっぽろ農業賞さったそうです。私もこの頃はまだ外から来たばかり、Kさんも外部の方。そんなヨソモノの我々ですが、白糠のヤナギダコ漁の素晴らしいさをつぶさに感じました。

他者から評価を得ることで、自分をもっと好きになったり自信を持つたりする。そんな経験をした方も多いのではないのでしょうか。町にも同じことが言えると思います。外部の評価を得ることで、皆さんの心にある故郷への愛や誇りがより一層深まる。その思いは、白糠をより住みやすい町・すてきな町へと進化させていく原動力と

なるはず。そして、町への深い愛や誇りを抱く皆さんこそが「白糠町のファン」と言えるのです。皆さんにとっては日常でも、外から見たら非常に素晴らしい。そんな『当たり前』が、まだまだたくさんあると私は確信しています。ぜひ皆さんの『当たり前』を教えてください。それを適切な形で町内外に発信することにより、内にも外にも白糠町ファンを増やしていきたいと考えています。「内部のファンを増やしたい理由は分かっているの?」という意見もあると思っています。この点も重要だと考えていますので、私がどんな仕事をしているかとともに、次号以降で改めてお話しさせていただきます。